

県立高等学校の再編整備の基本的な考え方

様々なご意見やご要望等を基に積み上げてきた、再編整備についての共通認識を以下の①～④に記します。

① 県民が期待する高校教育の姿

- 高校にどのような教育や機能を期待しますか？
 - ・質の高い授業、多様な学びが可能な仕組み
 - ・就職や進学等の進路実現につながる指導の充実
 - ・活発な部活動や多くの生徒との交流を通じて、人間的な成長が期待できる環境
- 上記を実現するためには、どのくらいの学校規模をイメージしますか？
 - ・1学年200～280人が理想
- そのような高校はどういうところであってほしいですか？
 - ・普通科を主とする高校は自宅から概ね1時間程度以内
 - ・専門学科など、特色ある教育を行う高校は和歌山市以外に、紀北・紀南にも必要

(本年4月実施の意見等公募より)

② 再編整備の理念

- 子供の希望や地域の状況等をもとに、**今ある32校の県立高校を可能な限り存続充実**させます。
- 自宅から通学可能な所に、**多様な学び方と活気がある高校**を整備します。
- 夢や希望の実現に 대응するため、各高校の**特色化を進め、充実した教育を保障**します。



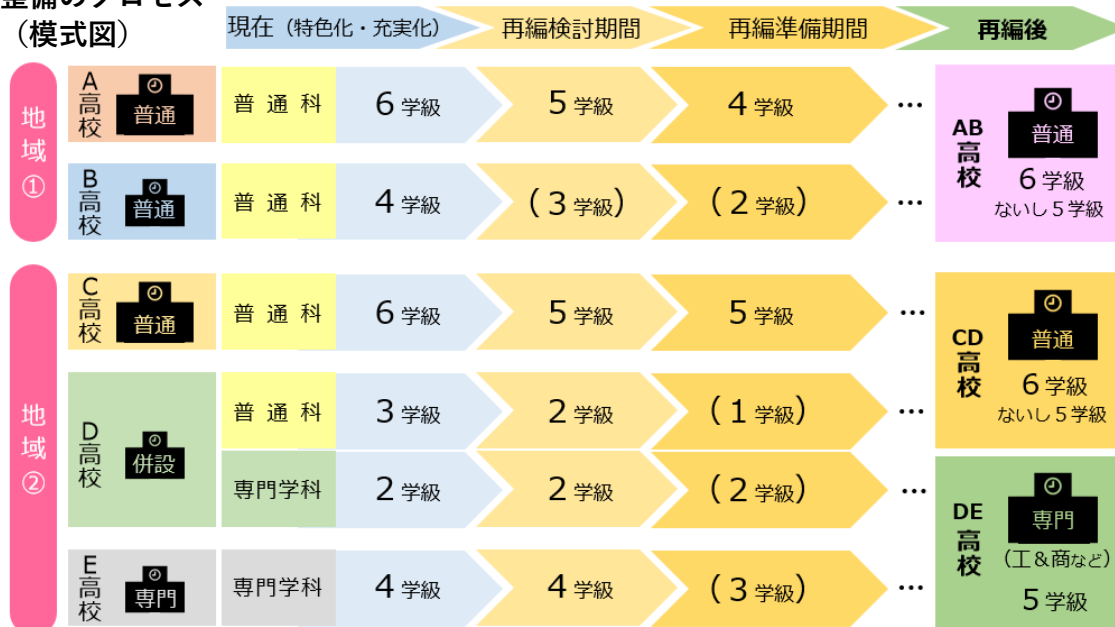
③ 県立高校の魅力化に向けて重視するポイント

- ICTを活用した **Society5.0時代の学び**や、**質の高い指導の展開**、**校舎や施設設備の集約・更新**などによって、高校教育を進化・充実させ、最大限に生徒の**可能性を広げ、才能を伸ばす**。
- 高校入試の**多様な枠組み**、高校入学後の**課程・学科変更の弾力化**などを通して、生徒が**自らに適した学び方**を見つけ、**自己実現**に専心できる仕組みをつくる。
- 高校への**特別支援学校等の併設**や、学び直しに特化した**少人数学級の導入**など、支援を要する**生徒に寄り添った教育**を充実する。
- 高校のスポーツ施設や図書館等の**共同利用や開放**を進め、**地域交流や文化の拠点機能**を創出・強化する。

④ 再編整備のステップ

- 少子化が進む中、各学校・学科の募集定員（学級数）は、中学生の希望状況、普通科や専門学科などの各学科のバランス、各地域の状況等を踏まえつつ、全県的な視点から総合的かつ可能な限り緩やかに設定します。
- 県民の願いを叶えていく上で、学校規模は1学年あたり6学級を目標、4～8学級を適正範囲とします。
- 募集定員の縮小により適正範囲を維持することが困難となる場合は、以下の模式図のように再編整備の検討や準備に取り組みます。ただし、学科の特性や定員の充足率等を踏まえて慎重に検討します。

再編整備のプロセス (模式図)



※施設の有効利用や円滑な再編整備を図る上で、分校舎の活用について検討しますが、学校としての一体感を損なわないようにします。

各地域における今後の県立高等学校の在り方

令和3年11月

裏面の「県立高等学校の再編整備の基本的な考え方」に拠って、各地域の概ね10数年先までの県立高等学校の在り方について、以下のように考えています。

再編整備は全県的な視点で計画されますが、時期や進め方は地域により異なります。また、今後、人口動態や学級定員など状況の変化があれば、柔軟に対応してまいります。

和歌山市エリア

- ・普通科(普通科系専門学科を含む。以下同じ。)の5校(和歌山北、向陽、桐蔭、星林、和歌山東)は、学級数の調整を行いながら可能なかぎり存続充実させ、将来、適正範囲を下回った学校については、総合学科への改編を含めた再編整備を検討します。
- ・専門学科高校(和歌山工業、和歌山商業)は、各学科教育の拠点として、存続充実させます。
- ・総合学科高校(和歌山)は、他校との再編等の可能性を含みつつ、存続充実させます。

紀北エリア

① 橋本市・伊都郡地域

- ・2校(橋本、笠田)の普通科は、学級数の調整を行いながら可能なかぎり存続充実させ、将来、必要な状況になれば、再編整備を検討します。
- ・3校(紀北工業、紀北農芸、笠田)の専門学科は、当面、学級数の調整を行いながら存続充実させ、将来、各学科の専門教育を提供する2ないし1校の専門高校への再編整備を検討します。

② 紀の川市・岩出市地域

- ・普通科の3校(粉河、貴志川、那賀)は、当面、学級数の調整を行いながら存続充実させ、うち1校については、新設の特別支援学校の並置を含めた再編整備を検討します。

紀中エリア

① 海草地域

- ・海南高校の両校舎(海南校舎、大成校舎)は、学級数の調整を行いながら、可能なかぎり存続充実させ、将来、分校を含めた在り方を検討します。

② 有田地域

- ・3校(箕島、有田中央、耐久)は、当面、学級数の調整を行いながら存続充実させ、これまで3校で実施してきた普通科、専門学科、総合学科の教育を提供する高校への再編整備を検討し、段階的に実施していきます。

③ 御坊市・日高郡地域

- ・3校(日高、紀央館、南部)は、学級数の調整を行いながら、可能なかぎり存続充実させ、将来、必要な状況になれば、学科や地域の特性等を踏まえつつ、再編整備を検討します。

紀南エリア

① 田辺市・西牟婁郡地域

- ・2校(田辺、神島)の普通科は、学級数の調整を行いながら、可能なかぎり存続充実させ、将来、必要な状況になれば、再編整備を検討します。
- ・3校(神島、田辺工業、熊野)の専門学科は、当面、学級数の調整を行いながら存続充実させ、将来、各学科の専門教育を提供する2ないし1校の専門高校への再編整備を検討します。
- ・総合学科(熊野)は、他校との再編等の可能性を含みつつ、存続充実させます。

② 新宮市・東牟婁地域

- ・串本古座高校については、地域特性を踏まえ、存続充実を目指します。
- ・新宮市内の2校(新宮、新翔)については、地域の教育ニーズに応える1校への再編整備を検討し、着手します。

定時制・通信制及び分校

- ・定時制・通信制の拠点校(伊都中央、きのくに青雲、南紀)は、教育ニーズを踏まえ、存続充実させます。
- ・併設定時制(和歌山工業、耐久、日高、新宮)は、生徒の出願状況等を踏まえた再編整備を検討します。
- ・分校(海南高校美里分校、有田中央高校清水分校、日高高校中津分校、南部高校龍神分校)は、生徒の出願状況や、分校所在地の生徒数や分校への進学状況を考慮しつつ、併設定時制課程の募集停止等に係る基準を準用した再編整備を検討します。